



小金井市議会 「みらいのこがねい」 会派ニュース

東京都施行の優先整備2路線 特集号 vol. 116

- 「東京都に対し『市独自の検証結果が出るまで優先整備2路線の事業化に向けた手続きを一旦休止するよう』求める申し入れ書」を白井市長に提出（10月24日）
- あらためて振り返る！第3回定例会で可決した「優先整備2路線検証の総合的判断を令和7年第1回定例会冒頭までに示すことを求める決議」（10月8日）

都市計画道路問題 新たな動きの前に 村山ひできを含む市議会議員12名が白井市長へ申し入れ

10月29日から「都市計画道路の整備方針(仮称)」都・区市町策定検討会議が始まる！
非公開で開催



衆院選の期間中ということもあり、賛同議員12名のうち参集できた7名で申し入れ書を市長に提出（10月24日）

東京都施行の優先整備2路線について新たな動きがありました。東京都は10月に専門アドバイザー委員会と都・区市町策定検討会議を設置すると表明。都の検討会議で何らかの結論が出る前に、小金井市が独自に検証しようとしている現状を、市から都に説明すべきと考え、市長に申し入れ書(下記参照)を提出しました。

そもそも村山ひできは市独自の検証は混乱するだけで不要であると主張してきました。しかし、市が強行するならば、せめて検証後の市長による総合的判断を令和7年第1回定例会冒頭までに示すべきと考え決議(裏面参照)に賛成しました。

今後さらに東京都が動く可能性もあり、予断を許さない状況となっています。

小金井市長 白井 亨 様

東京都に対し「市独自の検証結果が出るまで、優先整備2路線の事業化に向けた手続きを一旦休止するよう」求める申し入れ書

9月25日の都議会・代表質問に対し、東京都技監は「都はこれまで概ね10年ごとに優先的に整備すべき路線を選定し、計画的、効率的な都市計画道路の整備に取り組んでまいりました。現在の整備方針の計画期間が令和7年度末であることから、来月、学識経験者による委員会や、都と区市町村による検討会を設置いたします。今後、区市町と連携し幅広く都民意見の把握に努めながら、新たな整備方針の策定に向け検討を進めてまいります」と答弁した。

第四次事業化計画において優先整備2路線が選定されたことを契機に、自然環境等への意識が非常に高まり、市議会からは計画の見直しを求める意見書や市長に迅速な対応を求める決議等を可決してきた。現在、都市計画マスタープランで「都市計画道路の検証を行い、必要に応じて見直すべきものは見直す」としており、市長も、東京都に対し「事業化の中止を求める要望書」を提出するための調整を続けてきたことから、優先整備2路線についても市独自の検証を行なっているところである。

このことを10月29日開催予定の「検討会」において表明することを要望する。そして、「検討会」前に、東京都建設局に小金井市の現状を伝え、「小金井市独自の検証結果が出るまで、優先整備2路線の事業化に向けた手続きを一旦休止すること」を求めるよう合わせて要望する。

2024年10月24日

小金井市議会議員

岸田正義
村山ひでき
高木章成
森戸よう子

沖浦あつし
片山かおる
水上洋志
安田けいこ

鈴木成夫
渡辺大三
たゆ久貴
坂井えつ子

優先整備2路線検証の総合的判断を令和7年第1回定例会冒頭までに示すことを求める決議

第3回定例会の最終日となる10月8日、小金井市議会は下記の決議を賛成15、反対7で可決しています。今回の申し入れ書の前提となった決議の全文です。ご覧ください。

賛成 15

みらい(岸田・沖浦・鈴木・村山)、子どもの権利(片山・古畑・渡辺大三・高木)、共産党(水上・たゆ・森戸) 参政党(斎藤)、生活者ネット(安田)、緑・つながる(坂井)、街の仲間(清水)

反対 7

自民党・信頼(五十嵐・河野・吹春・遠藤)、公明党(小林・渡辺ふき子)、こがおも(水谷)、

十分な説明責任を果たさない白井市長に対し、 優先整備2路線検証の総合的判断を令和7年第1回定例会冒頭までに示すことを求める決議

令和6年第1回定例会において、白井市長は施政方針に「都市計画道路の必要性について独自に検証していきます」と明記し、都市計画マスタープランにある未着手路線の検証のため、独自に優先整備2路線を追加した検証予算を市議会に提案したが、施政方針、一般質問、当初予算質疑において答弁が二転三転し、一貫性を持たず、市議会が紛糾した結果、二つの決議が提出される事態となった。白井市長の「中止要望書」を提出するためのプロセスとしての検証という政策的提案であるにもかかわらず、熟度が低く事業構築の在り方に課題があることが明らかとなり、議会は白井市長の提案姿勢の反省と議会への説明を求める決議を可決し、白井市長に対して検証作業に着手する前にその目的、全体像、個別具体のプロセスを議会に説明することを求めた。

その後の建設環境委員会での説明においても、提出資料における説明と答弁が異なり、委員会開催当日に理事者協議を行って方針を変更したことが明らかとなるなど、庁内における意思決定プロセスに計画性がないことが判明した。市長は答弁のため休憩を求めたが、2時間ほど再開できず、担当部長からは「走りながら考えている」、副市長からは「タスクについてできるか私も心配している」との答弁が出る始末であり、説明責任が果たされているとは言えない状況である。

さらには、「総合的判断はいつ行うのか」との質疑に令和6年6月から1度ならず2度までも「年内を目途に判断できるように作業を進める」旨の資料と異なる答弁を繰り返していたにもかかわらず、令和6年9月になって突如「年内を目途に行うのは判断ではなく、判断するための作業である」と白井市長が強弁した。都市計画審議会からも相次いで懸念が示された検証スケジュールについての白井市長の答弁は、誠意がなく遺憾であると言わざるを得ない。

優先整備2路線については、賛成反対どちらの議員からも多くの質疑が重ねられてきたからこそ、検証については事業の目的、方向性、全体像、方法や手続はしっかり説明されるべきであるが、現状は与えられた時間の中でできることを今の体制で行うことに留まり、その検証結果が納得感あるものになるかは不透明である上に、検証結果を踏まえた総合的判断が令和7年第1回定例会に示されない懸念が高くなる一方である。

よって、小金井市議会は、白井市長に対し、以下の事項を求めるものである。

- 1 優先整備2路線検証の総合的判断は、令和7年第1回定例会冒頭までに示し、説明責任を果たすこと。
- 2 令和7年第1回定例会冒頭までに示せない場合は、透明性や公平性、客観性を担保する最大限の努力を行い、手法やスケジュールも含めた見直しを行うこと。

以上、決議する。

村山ひできプロフィール

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
～衆議院議員(岩國哲人・城島正光) 秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
～(株)ジェイコム東京に入社
- 2016年 復帰を決意し(株)ジェイコムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
民進党の解党とともに無所属に
- 2021年 再選し現在4期目

《主な地域活動》

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井薪能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市商工会参与会 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局
- 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にすの会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

村山ひでき事務所

〒184-0004
小金井市本町 6-13-17
サンライズ武蔵小金井 702
TEL 042-386-5543
FAX 042-386-5560
携帯 090-3428-2715

Eメール

hideki@murayama.tv

WEBサイト

<http://www.murayama.tv>

Twitter

@Murayama_Hideki

Facebook

<https://www.facebook.com/hideki.murayama.52>